

知事から各部長への指示事項

- 県内では、連日2桁の新規感染者が確認される日が続く厳しい状況にあります。ステージ判断の各種指標を見ても、「最大確保病床の占有率」や「直近1週間の感染者数」などが、県の「対応の目安」のステージ「警戒（オレンジ）」の水準を超えている状況です。
- このため、県の「対応の目安」のステージを「特別警戒（赤）」に引き上げることにします。
- これまで、経済活動の回復に意を用いて対応してきましたが、今はここで感染拡大を防止していくことを明確に優先すべきである局面だと判断します。
- 前回の本部会議（5/19）以降も引き続き「飲食や会食」が感染拡大の大きな要因の一つとなっており、さらに踏み込んだ対応が必要であると判断しました。
- 具体的には、感染拡大の顕著な高知市及び四万十市の飲食店などへの「営業時間短縮の要請」に踏み切り、協力店舗には協力金を支払うこととしました。
- 各部局においては、以下の2点をお願いします。

<高齢者施設等への集中的検査について>

- 高齢者施設、障害者施設等の従事者等を対象にした「集中的検査」について、方針を3月に決めています。高知市が国の実施基準（人口10万人あたりの直近14日間の感染経路不明の新規感染者数が10人以上）を上回る状況になっています。
そのため、高知市と連携のうえ、速やかに対象施設等にスケジュールを示し、検査の実施を進めてください。

<経済影響対策について>

- 飲食店の皆さまに、3度目となる「営業時間短縮の要請」を行うこととなりました。飲食店の皆さまだけでなく、取引先など関連する事業者の皆さまの経営悪化も懸念されます。
こうした県内の事業者への影響をしっかりと把握したうえで、これまでの支援策の実績、効果なども踏まえ、今後の必要な対策を検討し、実施してください。